

いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷KK

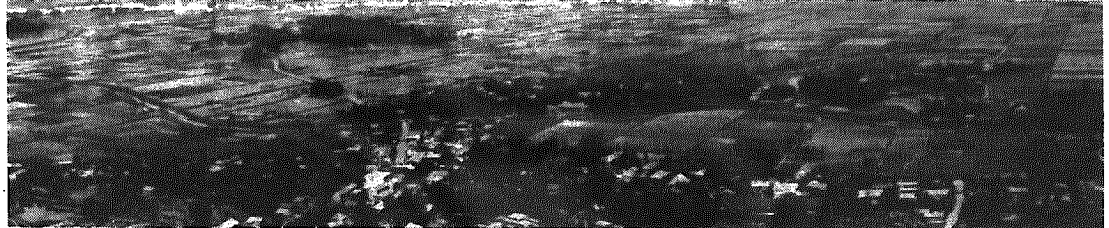
No. 14

納税に御協力を

今月から納税が始まりますが昨年より倍し、御協力をお願い致します。月々の納税額は大部多くなって居りますが、それは次の様な理由によります。

◎村民所得が大巾に伸びた事（昭和36年に比較して32%増）によります。

県民税は69%増（100万円）となり、村民税は1000分の7の減税（平均税率）をしたのですが24%の増で税額にしますと約250万円位の増になります。この増額はブルドーザー購入価格の約半額に当ります。



岩室、弥彦

国民保養温泉地に指定される

岩室、弥彦、観音寺の三つの温泉が、県下で初めて国民保養温泉地として、四月二十三日厚生省から指定された。

国民保養温泉地とは、国民大衆の保養と健康増進に利用するため、施設整備や環境改善等を積極的に行指導するもので、指定地域内の計画に対して三分の二の国及び県の補助がつかう外、国民年金還元融資も優先的に受けられる。

本村では早速駐車場、公衆便所、道路補修などを手初めとして行い計画がたてられており、その具体策等について御紹介いたします。

（写真は松岳山中限より温泉地を望む）

昨年来、弥彦村と共同で計画をたて県温泉審議会の審議を経て、厚生大臣宛申請とされた温泉法第十四条の規定に基く地域指定（国民保養温泉地）は、昭和三十三年四月二十三日厚生省告示第二〇三号のとおり指定されました。

一、地域

この温泉地計画の地域は、岩室温泉、弥彦温泉、観音寺温泉とし、面積は岩室地区一・四・九一（ヘクタール）、弥彦、観音寺地区二・八・六〇（ヘクタール）、合計四〇・三・五一ヘクタールに及びます。

二、計画の基本方針

この温泉地は岩室温泉地区、弥彦温泉地区、観音寺温泉地区の三地区に分れており、これをまとめて単一の温泉地として計画する。温度、湧出量及び泉質の維持確保等源泉の保護に努めると共に、未利用源泉の開発等適正利用の増進をはかる。

三、岩室温泉の方針

（イ）駐車場、休憩所等公共施設を整備するほか、国民宿舎の新設、既設宿舎の改善等、宿泊施設、浴用施設の充実を図る。

（ロ）附近の景勝地である松岳山、招魂神社等に散策歩道を整備し、浴客の利用に供する。

（ハ）計画宿泊収容人員を、〇〇〇人とする。

四、環境整備計画

この温泉地のうち園定公園に含まれる地域はこの計画に定めるほか、自然公園法の定めるところによる。

この計画に定める施設は、この温泉地の自然環境に調和した意匠によるものと、大衆の健全な利用に適したものととする。

広告物、看板等の設置は、位置及び意匠等厳格な検討を行うものとし、乱設を防止する。

周辺の森林は適切な森林計画によって施策を行い自然環境の育成をはかる。

計画地内には蘆藪的な樹木の植栽を行い既存の苗木の保存に努め美観の造成をはかる。

この温泉地の最近の傾向である家族利用及び湯治利用等大衆利用を促進するため健全な雰囲気造成につとめ、風紀の維持に万全を期する。

この地域内にあっては風紀を乱すおそれのある風俗営業は、極力行なわないものとする。

塵芥処理を積極的に行い、し尿処理を適切にし、特に道路、園地、下水溝の清掃を適宜実施する。

ねずみ、はえ、蚊等衛生害虫の撲滅を計画的に推進し速やかに完全駆除の実施を期する。

所要場所には公共のゴミ箱を設置、各地区に塵芥焼却炉を整備する。この計画地内に今後新設する公衆便所並びに宿泊施設の便所は、強力水洗式のものとする。これは衛生車（汲取車）を積極的に運行し、処理の完全を期する。

なお、宿泊施設は逐次、水洗便所に改造するものとする。

以上で岩室温泉地計画のあらましを抜粋記述しましたが、これらの実施については、国、県の積極的な助成措置が講じられており、あとは、村、地元の熱意如何にかかっているといえますので、村民各位の御理解と御協力をお願いいたします。

任期満了による西浦原土地改良区総代が、去る五月十日無投票で当選した。

大関 清敏（高橋）
大正2年1月31日生
佐藤徳太郎（和納）
明治21年7月生
早川喜五郎（和納）
明治40年10月15日生
田中 校造（和納）
明治35年12月27日生
樋口 栄作（和納）
明治41年3月11日生
山上 治作（夏井）
明治44年9月17日生
小池伍左郎（猿ヶ瀬）
明治27年5月1日生
藍沢 祐三（田子島）
明治44年12月24日生
堀部仁三郎（西中）
明治38年6月20日生
三富 栄八（樋曾）
大正元年8月20日生
中村 秀司（高畑）
明治44年1月2日生
金子 藤吉（橋本）
明治28年3月14日生

土地改良区 総代決まる

講演会のお知らせ

次の日程で講演会が開催されます。誘い合せておいて下さい。

期日 十四日午前九時三十分から岩室村役場

演題 「日本一うまい米づくりについて」

講師 農農武国武技師殿 農農産課係官殿

午後からは座談会を行います。